

# 平成 30 年度 事業報告書

第 17 期

施設名	兵庫サポートセンター グループホームみつみ		
サービス・施設種別	指定共同生活援助事業		
住所	兵庫県丹波市氷上町石生 36-1		
連絡先	電話 0795-88-9632 Fax 0795-88-9640		
認可・利用定員等	利用者定員 73 名	職員数	27.5 名
事業開始日	平成 19 年 5 月 1 日		

## 1. 総括

地域の中でご利用者の実情に寄り添いながら、主体性のある生活を送って頂けるように事業計画に沿って概ね進めることが出来ました。しかしながら、グループホームのご利用者及び職員の高齢化に伴う課題は多くあります。①ご利用者の高齢化に向けた取り組みにおいて安全、安心に生活出来るよう住居の変更等（11 棟中、バリアフリーである建物 4 ヶ所）も検討が必要です。②職員確保の問題として人材不足の中、職員充足率が低迷しております。引き続き職員の雇用に向けて努力していきます。

## 2. 利用者サービスの状況

### （1）人権擁護

毎月、チェックシートにより全職員が自身の振り返りを行うと共に、内容を取りまとめフィードバックすることや人権についての職員研修（4 月、12 月）を開催しています。また会議などその都度人権及び虐待について伝え、職員個々の人権意識の向上に努めました。

### （2）個別サービスの質の向上

本人中心の支援を行うため、個別支援計画を作成する際には、ご本人に聞き取りを行い、特定相談支援事業所（計画相談支援）との連携をとりながら進めました。また、計画について各ご利用者へ説明を行い同意を得ております。また、日頃からご利用者の希望する生活に寄り添えるよう、自治会活動を通して各ホームの日帰り旅行、個別買い物など行き先を検討し、ご利用者主体での生活の質を高めるように取り組んでおります。

今年度予定しておりました第三者評価の受診はできませんでした。

## 3. 地域で支え合う仕組みづくり

障害者の地域移行の推進を図るため、各行政機関や相談事業所などと連携し、空室を活用した体験入所の場を提供しました。3 名（延日数 47 日）利用され内 2 名の男性の方が GH に入居利用される運びとなりました。

一人暮らしを希望されるご利用者に対して、より一人暮らしに近い取り組みを実践してきました。後見人の協力も得て、物件探しなど準備を進め 12 月より新しい生活をスタートされています。今後の支援については、みつみ生活サポートセンターを軸に、ヘルパーなどを利用され一人暮らしを継続する予定

です。

#### 4. 人材育成と人材の定着

サービス管理責任者の更なるレベルアップをめざし、法人内外の各研修会に参加しました。また、職員研修では、高齢の職員を雇用するケースが多いために外部講師を招いて基本的な事柄から学んでいただけの機会も設けました。対人援助職員としてのスキルアップに繋がられるように取り組んでおります。

#### 5. 健康管理・災害訓練等・会議の状況

実施月	健康管理	災害訓練	会 議
5 月	前期健康診断		
11 月	後期健康診断 インフルエンザ予防接種		
毎月	体重測定・血圧測定		運営会議 検討会議

#### 6-1. 職員研修の状況

##### 施設内研修

実施月	研修名	内 容	備 考
4 月	世話人研修	事業計画、業務の確認	管理者、サビ管
5 月	世話人研修	食中毒予防等の基礎知識	みつみ学苑栄養士
6 月	世話人研修	熱中症予防について	GH看護師
7 月	世話人研修	防犯についての基礎知識	丹波警察署
8 月	世話人研修	AEDの使用方法等について	丹波市消防本部
9 月	世話人研修	災害時の心構え、予防、消火訓練	丹波市消防本部
10 月	世話人研修	感染症対策	GH看護師
12 月	世話人研修	人権擁護について	みつみ生活サポートセンター 主任
1 月	世話人研修	リスクマネジメントについて	京都サポートセンター課長
3 月	世話人研修	研修の振り返り	管理者、サビ管
随 時	ホーム会議	利用者状況、情報共有	サビ管、生活支援員、世話人

#### 6-2. 施設外研修

実施月	研修名	内 容	備 考
7 月	相談面接技術研修	(中級 A コース 1 日目)	サビ管
8 月	相談面接技術研修	(中級 A コース 2 日目)	サビ管
9 月	第 30 回 全国グループホーム等研修会	四国地区大会	サビ管
9 月	OJT リーダー養成研	(実践編)	サビ管

	修		
11月	源泉所得税	年末調整説明会	事務員
11月	OJT リーダー養成研修	(実践編)	サビ管
12月	グループホーム等職員研修会 (兵庫)		サビ管

## 7. 行事の状況

実施月	行事名	実施場所	内容・ねらい等
5月	のじぎくスポーツ大会	三木総合防災公園	スポーツ大会参加、他施設との交流
	春の里フェスティバル	春日育成苑・学園	他施設への行事参加・交流
6月	さくら日帰り旅行	京都水族館	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
7月	ハートタウン石生日帰り旅行	なんばグランド花月	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
9月	もみじかえで日帰り旅行	京都水族館	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
	フレンド日帰り旅行	神戸どうぶつ王国	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
10月	みつみいきいきフェスティバル	みつみ学苑	他事業所、地域との交流
	春の里スポーツの集い	春日育成苑・学園	他施設への行事参加・交流
	エンジョイハウス日帰り旅行	大阪城他	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
11月	幸福の里日帰り旅行	通天閣	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
	エスポワール日帰り旅行	井つつや他	利用者間の交流と余暇の充実を図る。
12月	もみじかえで忘年会	夫婦橋	会食を楽しむ。
	幸福の里忘年会	トマト&オニオン	会食を楽しむ。
	ハートタウン石生忘年会	若駒	会食を楽しむ。
1月	エンジョイハウス新年会	若駒	会食を楽しむ。
	さくら新年会	若駒	会食を楽しむ。
	エスポワール新年会	夫婦橋	会食を楽しむ。
2月	ホープ新年会	葵寿司	会食を楽しむ。
	フレンド新年会	若駒	会食を楽しむ。
	利用者自治会	各ホーム	日常生活の要望、不満等を聞き解決

			する。意見交換をすることでより良く安心した地域生活が送れるようにする。
--	--	--	-------------------------------------

8. ボランティア等受け入れ状況

実施月	グループ名	内 容	人 数	備 考
			0名	

9. 広報啓発活動の状況

区 分	内 容
種 類	グループホームみつみ広報紙
発送先	保護者、各関係機関
発行月	7月・2月
部 数	64部・62部
内容等	ご利用者の様子、職員研修の取り組み